

教員紹介

リハビリテーション学部

窪 優太 KUBO yuta

職位	講師
最終学歴	大阪市立大学生活科学研究科博士後期課程修了
職歴	医療法人社団喜峰会東海記念病院を経て、現職
学位	博士（生活科学）
資格（免許）、認定	作業療法士（認定作業療法士）
担当科目（学部）	医療管理学入門/基礎作業学実習/作業療法評価学/作業療法総合技術演習/身体障害作業療法学Ⅰ/身体障害作業療法学実習/日常生活活動学/日常生活活動学実習/総合リハビリテーション学
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	皆さんの学習のお手伝いが少しでもできるよう頑張ります。 よろしくお願ひいたします。
研究内容	高齢者の栄養に関する研究
研究分野キーワード	高齢者/栄養
URL	https://researchmap.jp/yuta-kubo
著書	
論文	<p>1) Taiji Noguchi, Takahiro Hayashi, Yuta Kubo, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, Hiroyuki Hayashi. Living alone and depressive symptoms among older adults in the COVID-19 pandemic: Role of non-face-to-face social interactions. Journal of the American Medical Directors Association, 24(1), 17-21</p> <p>2) Kyosuke Yorozuya, Yoshihito Tsubouchi, Yuta Kubo, Yoshihiro Asaoka, Hiroyuki Hayashi, Takashi Fujita, Hideaki Hanaoka. Effect of a Multimodal Non-pharmacological Intervention on Older People with Dementia: A Single-Case Experimental Design Study. BMC Geriatrics, 22(1), 906.</p> <p>3) Keisuke Fujii, Yuya Fujii, Yuta Kubo, Korin Tateoka, Jue Liu, Koki Nagata, Daiki Nakashima, Tomohiro Okura. Frail older adults without occupational</p>

dysfunction maintain good subjective well-being: A Cross-Sectional Study. Healthcare, Vol. 10, No. 10, p. 1922.

- 4) Naoki Tomiyama, Taiji Noguchi, **Yuta Kubo**, Takahiro Hayashi, Akira Ochi, Hiroyuki Hayashi. Association between decreased frequency of seeing friends and the onset of depressive symptoms among community-dwelling older adults: A longitudinal study. Mental Health & Prevention, 27, 200243.
- 5) **Yuta Kubo**, Taiji Noguchi, Takahiro Hayashi, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, and Hiroyuki Hayashi. Eating alone and weight change in community-dwelling older adults during the coronavirus pandemic: a longitudinal study. Nutrition, 111697.
- 6) Kyosuke Yorozuya, **Yuta Kubo**, Rikiya Narita, Taiga Kondo. Association between toileting independence and higher brain functions in post-stroke inpatients: a cross-sectional study. Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases, 31(7), 106524.
- 7) 林浩之, **窪優太**, 林尊弘, 越智亮, 野口泰司, 富山直輝. 地域在住の高齢男性および女性の要介護認定発生リスクを高める健康関連状態. 作業療法, 41(2), 206-213.
- 8) 則竹賢人, **窪優太**, 林尊弘, 山田和政. 高齢入院患者における栄養指標としての Phase angle の有用性. 理学療法科学, 37(1), 87-93.
- 9) Takahiro Hayashi, Taiji Noguchi, **Yuta Kubo**, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, Hiroyuki Hayashi. Social frailty and Depressive Symptoms during the COVID-19 Pandemic among Older Adults in Japan: Role of Home Exercise Habits. Archives of Gerontology and Geriatrics. (in press)
- 10) 谷口敦哉, **窪優太**, 飯塚照史. 移乗介助動作における医療従事者の筋活動—腰痛予防に向けた分析—. 作業療法ジャーナル, 55(12), 1427-1431.
- 11) **Yuta Kubo**, Taiji Noguchib, Takahiro Hayashi, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, and Hiroyuki Hayashi. Changes in psychosocial factors among community-dwelling older adults before and after Japan's declaration of a state of emergency over coronavirus disease 2019. Psychogeriatrics, 22(1), 3-10.
- 12) **Yuta Kubo**, Keisuke Fujii, Takahiro Hayashi, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, Hiroyuki Hayashi. Sex differences in modifiable fall risk factors: a retrospective longitudinal cohort study of Japanese community-dwelling older adults. The Journal for Nurse Practitioners, 17(9), 1098-1102.
- 13) **窪優太**, 林浩之, 則竹賢人, 山田和政, 岡田進一. 認知機能障害と抑うつが併存する高齢骨折患者における日常生活動作能力関連因子の検討. 日本認知症予防学会誌, Vol.11 No.1, 2-7.

- 14) Taiji Noguchi, Takahiro Hayashi, **Yuta Kubo**, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, Hiroyuki Hayashi. Association between decreased social participation and depressive symptom onset among community-dwelling older adults: a longitudinal study during the COVID-19 pandemic. *The journal of nutrition, health & aging*, 1-6, 2021
- 15) Taiji Noguchi, Takahiro Hayashi, **Yuta Kubo**, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, Hiroyuki Hayashi. Association between Family Caregivers and Depressive Symptoms among Community-Dwelling Older Adults in Japan: A Cross-Sectional Study during the COVID-19 Pandemic. *Archives of Gerontology and Geriatrics*, 96, 104468.
- 16) Taiji Noguchi, **Yuta Kubo**, Takahiro Hayashi, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, Hiroyuki Hayashi. Social isolation and self-reported cognitive decline among older adults in Japan: A longitudinal study in the COVID-19 pandemic. *Journal of the American Medical Directors Association*, 22(7), 1352-1356.
- 17) Keisuke Fujii, Yuya Fujii, **Yuta Kubo**, Korin Tateoka, Liu Jue, Kouki Nagata, Tomohiro Okura. Association Occupational dysfunction and social isolation in Japanese older people: a cross-sectional study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 18(12), 6648.
- 18) **Yuta Kubo**, Kento Noritake, Daiki Nakashima, Keisuke Fujii, Kazumasa Yamada. Relationship between nutritional status and phase angle as a noninvasive method to predict malnutrition by sex in older inpatients. *Nagoya Journal of Medical Science*, 83, 31-40, 2021.
- 19) 森優太, 竹田徳則, 渡邊良太, **窪優太**. 地域在住フレイル高齢者と社会参加活動に関する定性的システムティックレビュー -介入効果に関する検討. *日本サルコペニア・フレイル学会誌*, 5(1), 2020.
- 20) 佐藤 岬, **窪 優太**, 林 浩之. 新たな自助具の考案により食事動作が自立した四肢麻痺を呈した一症例. *総合リハビリテーション*, 48(2), 169-173, 2021.
- 21) **Yuta Kubo**, Hiroyuki Hayashi, Kento Noritake, Kazumasa Yamada, Shinichi Okada. Effects of depression on the condition of older inpatients with fracture and pre-existing cognitive impairment. *Disability and Rehabilitation*, 1-5, 2019.
- 22) Kyosuke Yorozuya, **Yuta Kubo**, Naoki Tomiyama, Shingo Yamane, Hideaki Hanaoka. A systematic review of multimodal non-pharmacological interventions for cognitive function in older people with dementia in nursing homes. *Dementia and Geriatric Cognitive Disorders*, 1-16, 2019.
- 23) 中澤僚一, **窪 優太**, 林 浩之. 高齢骨折患者のアパシーに対する集団料理活動に関する予備的研究. *日本認知症予防学会誌*, 9 (1) , 10-12, 2019.
- 24) 水越雅菜実, **窪 優太**, 林 浩之. 脳卒中後の注意障害に対して有酸素運動を用いた作業療法実践. *神経内科*, 91(1), 122-124, 2019.

学会発表	<p>25) 舟戸 敦, 中島大貴, 窪 優太. 心理的介入により脳卒中後の apathy に改善を認め, ADL の回復へと繋がった一例. 神經内科, 90(6), 701-704, 2019.</p> <p>26) Kubo Yuta, Hayashi Hiroyuki, Kozawa Saori, Okada Shinichi: Relevant factors of depression in dementia modifiable by non-pharmacotherapy: A systematic review. PSYCHOGERIATRICS.18(6), 489-500,2018.</p> <p>27) 窪 優太, 中澤僚一, 各務真菜, 加藤美樹, 中島大貴, 岡村英俊, 長谷川慧, 竹田徳則. 回復期リハビリテーション病棟入院の抑うつ・アパシーを呈する認知症高齢者に対する集団料理活動の効果. 老年精神医学雑誌, 28(8), 899-904, 2017.</p> <p>28) 窪 優太, 竹田徳則. わが国における認知症の行動・心理症状 (BPSD) に対する非薬物療法の現状と課題. 認知症ケア学会誌, 16(2), 484-497, 2017.</p> <p>29) 岩井 緑, 林 浩之, 中島大貴, 中村守吾, 松岡紘佳, 窪 優太, 久保 歩, 富山直輝: 大腿骨近位部骨折患者における精神心理機能に関する研究: 地域在住高齢者との比較. 作業療法, 36(1), 35-41, 2017.</p> <p>30) 窪 優太, 林 浩之, 長谷川龍一. 高齢入院患者は作業療法士のどのような言動から敬意を感じるのか. 愛知県作業療法, 24, 64-67, 2016.</p> <p>31) 土屋智歩, 窪 優太, 林 浩之. 食事自立に向けた自助具作製により食事動作が改善した頸髄損傷患者. 作業療法, 34(6), 670-677, 2015.</p> <p>32) 窪 優太, 日比翔太, 竹田徳則. 回復期リハビリテーション病棟入院高齢者の「食事」に対する意識調査. 愛知県作業療法, 20, 30-34, 2012.</p> <p>1) 中村知寛, 小出夏希, 加藤彩菜, 近藤佑香, 前田ほのか, 窪優太, 林浩之. 頸髄損傷者における運動時深部温上昇を抑制するためのアイススラリー摂取の可能性を探索する: シングルケーススタディ. 第 6 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (2022 年 11 月, 岡山県) .</p> <p>2) 林尊弘, 野口泰司, 窪優太. COVID-19 流行下における地域在住高齢者の運動機能低下に対する余暇活動の緩和影響. 第 81 回日本公衆衛生学会総会 (2022 年 10 月, 山梨県) .</p> <p>3) 萬屋京典, 窪優太, 成田力也, 近藤大河. 脳血管障害後の入院患者におけるトイレ動作自立にはどのような高次脳機能が関連 するのか? 一多重代入とベイズ統計を用いた横断研究. 第 56 回日本作業療法学会 (2022 年 9 月, 京都府) .</p> <p>4) 藤井啓介, 藤井悠也, 窪優太, 大藏倫博. 地域在住フレイル高齢者における作業機能障害と主観的幸福感の関連性—無作為抽出による大規模郵送調査—. (2022 年 9 月, 京都府) .</p>
------	--

- 5) 林尊弘, 野口泰司, **窪優太**. 地域在住高齢者におけるフレイルの社会的側面と抑うつとの関連: COVID-19 流行期間の横断研究. 第 80 回日本公衆衛生学会 (2021 年 12 月, 東京都) .
- 6) **窪優太**, 野口泰司, 林尊弘. COVID-19 祸における地域在住高齢者の孤食と体重変動に関する縦断研究. 第 80 回日本公衆衛生学会 (2021 年 12 月, 東京都) .
- 7) 成田力也, 近藤大河, **窪優太**, 萬屋京典. 脳卒中患者における FIM 利得に影響する因子について. 第 5 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (2021 年 11 月, 愛知県) .
- 8) 近藤大河, 成田力也, **窪優太**, 萬屋京典. 回復期リハビリテーション病棟における注意機能と退院先の関連性の調査. 第 5 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (2021 年 11 月, 愛知県) .
- 9) Taiji Noguchi, Takahiro Hayashi, **Yuta Kubo**, Naoki Tomiyama, Akira Ochi, Hiroyuki Hayashi. MENTAL HEALTH CRISIS OF FAMILY CAREGIVERS DURING THE COVID-19 PANDEMIC: RESULTS OF OLDER ADULTS IN JAPAN. GSA 2021 Annual Scientific Meeting at Phoenix (2021 年 11 月, Web 開催)
- 10) **窪優太**, 野口泰司, 林尊弘, 富山直輝, 林浩之. coronavirus disease 2019 感染症緊急事態宣言が地域在住高齢者の抑うつに与える影響. 第 55 回日本作業療法学会 (2021 年 9 月, Web 開催) .
- 11) 筒井歩空, **窪優太**. 記憶障害・注意障害が要因でストレス反応が生じている脳卒中患者に対する、心理面に配慮した介入 1 事例への実践. 第 54 回日本作業療法学会 (2020 年 9 月, Web 開催) .
- 12) **窪 優太**, 則竹賢人, 中島大貴, 藤井啓介, 山田和政: 高齢骨折患者における Phase angle を用いた栄養状態の評価. 第 3 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (2019 年 11 月, 静岡県) .
- 13) 水越雅菜実, **窪 優太**, 林 浩之: 脳卒中後の注意障害を呈する患者に対する有酸素運動の実践. 第 53 回日本作業療法学会 (2019 年 9 月, 福岡県) .
- 14) 則竹賢人, **窪 優太**, 鈴木優太, 山田和政: 回復期リハビリテーション病棟における脱水症患者の特性. 回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回 研究大会 in 舞浜・千葉 (2019 年 2 月, 千葉県) .
- 15) **窪優太**, 則竹賢人, 中島大貴, 山田和政: 入院超高齢患者の抑うつの有無による栄養状態, 体組成, 認知機能, 日常生活動作能力の比較. 回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回 研究大会 in 舞浜・千葉 (2019 年 2 月, 千葉県) .
- 16) 鈴木優太, 則竹賢人, 西川萌, **窪優太**, 矢澤浩成: ハンドヘルドダイナモーメーターを用いた体幹伸展筋力測定の信頼性の検討. 第 6 回日本運動器理学療法学会学術大会 (2018 年 12 月, 福岡県) .

- 17) 梅木晴日, 窪 優太: 右片麻痺を呈した症例に対する頻回な ADL 指導が麻痺の機能改善と復職へ繋がった一例. 第 18 回東海北陸作業療法学会 (2018 年 11 月, 福井県)
- 18) 船戸 敦, 窪 優太: 心理的介入により脳血管障害後の Apathy に改善を認め, ADL の改善へと繋がった一例. 第 52 回日本作業療法学会(2018 年 9 月,愛知県).
- 19) 中澤僚一, 窪優太, 林 浩之 : 高齢骨折患者の抑うつ, アパシーに対する集団料理活動に関する予備的研究. 第 52 回日本作業療法学会(2018 年 9 月, 愛知県).
- 20) 佐藤 岬, 窪 優太: 自助具の作製により食事動作が改善した一例. 第 52 回日本作業療法学会(2018 年 9 月, 愛知県).
- 21) 窪優太, 加藤美樹, 中島大貴, 岡村英俊, 中澤僚一, 長谷川慧, 各務真菜, 竹田徳則 : 回復期リハビリテーション病棟入院の抑うつ・アパシーを呈する認知症高齢者に対する集団料理活動の持続効果の検討. 第 6 回日本認知症予防学会学術集会(2016 年 9 月,宮城県).
- 22) 窪 優太, 竹田徳則 : 認知症の BPSD に対する非薬物療法の現状と課題. 第 50 回日本作業療法学会(2016 年 9 月,北海道).
- 23) 窪 優太, 加藤美樹, 中島大貴, 岡村英俊, 中澤僚一, 長谷川慧, 各務真菜, 竹田徳則 : 抑うつ・アパシーを呈する認知症高齢者に対する集団料理活動の効果の検討 回復期リハビリテーション病棟における取り組み 第一報. 第 17 回日本認知症ケア学会大会(2016 年 6 月,兵庫県).
- 24) 土屋智歩, 窪 優太, 林 浩之 : 頸髄損傷患者の食事動作獲得にむけた新たな自助具の考案. 第 49 回日本作業療法学会(2015 年 6 月,兵庫県).
- 25) 窪 優太, 林 浩之, 長谷川龍一 : 高齢患者は作業療法士のどのような言動から敬意を感じるのか. 第 47 回日本作業療法学会(2013 年 6 月,大阪府).
- 26) 窪 優太, 日比翔太, 竹田徳則 : 回復期病棟入院高齢者の「食事」に対する意識調査. 第 10 回東海北陸作業療法学会(2010 年 11 月,愛知県).

【愛知県作業療法士会関連】

- 1) 演題査読委員
2) 第 26 回愛知県作業療法学会 口述演題 座長

社会的活動

(公開講座・講演・

国際交流など)

【介護予防事業関連】

健康講座 @スポーツクラブ NAS サンマルシェ

【ボランティアプラットフォーム】

	Tumleap, Cambodia にて現地の子供にむけた日本語・英語の授業を担当.
	<p>【岐阜県美濃加茂市との健康増進を目的とした情報発信・活用に関する連携協定】</p> <ul style="list-style-type: none">1) ケーブルテレビ番組「美濃加茂すこやかプラス」の作成2) ラジオ番組出演3) 介護予防事業のデータ分析4) 市民が行える体操の開発
その他	